

“Promise of 1.5°C” Media Collaboration & Environmental education using Anime

11月20日 13:30-14:30(ブラジル現地時間)

「1.5°Cの約束」メディアの連携とアニメを使った環境教育

「1.5°Cの約束」キャンペーンには、国連SDGメディア・コンパクトに参加した日本の169のメディアが参加しています。このうち、日本の公共放送局であるNHKと5つの民間放送局が協力し、番組やソーシャルメディアコンテンツを開発しています。さらに、NHKエンタープライズはアニメを活用した気候変動教育用動画教材を制作しました。これらの取り組みを世界に発信します。

■スピーカー：堅達京子 NHKエンタープライズ エグゼクティブ・プロデューサー



産業革命以降の地球の平均気温上昇を1.5°Cに抑えるために6つの放送局が組織の枠を超えて連携し、視聴者に気候変動対策への行動を強く促す「1.5°Cの約束」キャンペーン。この前例のないコラボレーションはどのように実現したのか？発足時から携わり、事務局兼番組制作責任者を務める堅達プロデューサーが報告する。



さらに、本キャンペーンに参加している気候変動教育用アニメーション教材「FUTURE KID TAKARA」についても報告します。

イオン環境財団の特別協賛、Jリーグの協賛を得てNHKエンタープライズが制作した本アニメの目的と、実際の教育現場での活用事例を紹介します。

SDGsパビリオンでは、全11話シリーズから4つのエピソードと主題歌を上映。世界的に著名なアニメーションスタジオ「STUDIO 4°C」との制作の舞台裏やイオン環境財団との協働についても紹介。サッカー選手とのコラボレーションなど子どもたちの心をつかむ要素や、専門家による科学的・教育的監修を含む制作プロセスを報告します。これらの知見を世界と共有することを目指します。